

## 平成 29 年度 第 1 回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	平成 29 年 6 月 16 日(金) 13 時 30 分から 14 時 20 分まで		
開催場所	大垣市民病院 2 病棟 1 階 会議室		
議 題	前回開催時の課題に対する報告、定例報告及び紹介率向上への取組みについて		
出席委員 (敬称略)	委員長	大垣市医師会長	山川 隆司
	副委員長	大垣歯科医師会長	片野 雅文
	委員	大垣市医師会副会長	沼口 諭
	委員	大垣市医師会理事	近藤 潤一郎
	委員	大垣歯科医師会副会長	荻下 雅仁
	委員	大垣薬剤師会長	松本 正平
	委員	大垣女子短大看護学科長	伊藤 恒子
	委員	大垣市女性連合会長	竹中 昌子
	委員	西濃保健所長	鷹尾 明
公開区分	公開		
傍 聴 人	なし		
審議概要	<p><b>1. 委員長及び副委員長の選出について</b></p> <p>「地域医療支援病院に関する委員会設置要綱」の第 4 条第 1 項の規定に基づき、委員の互選によって、委員長には大垣市医師会長の山川 隆司氏、副会長には大垣歯科医師会長の片野 雅文氏が選出された。</p> <p><b>2. 報告事項</b></p> <p><b>1) 前回開催時の課題に対する報告</b></p> <p>(前回開催時の課題)①在宅医療多職種研修会への出席者について、院内の通知連絡が上手くなされていないため、薬剤部職員が出席できなかった。②地域連携による診察・検査予約において、予約枠が満杯で断られることがある。③市民病院に通院している患者さんで、地域のかかりつけ医が無い方の服薬管理について、どうすれば良いか。④救急外来の状況や役割などについて広報してはどうか。⑤退院カンファレンスの件数や退院後の行き先についてはどのようなか。</p> <p>(事務局)①よろず相談・地域連携課において各診療科及び医療技術部門に通知し、出席者を取りまとめることとした。②全診療科において予約枠を増加させ、合計で 379 枠から 521 枠に増加した。③該当患者さんの情報をよろず相談・地域連携課に連絡してもらい、主治医に院外処方の指示を出すよう依頼する。その後、かかりつけ医紹介センターで地域のかかりつけ医を探してもらい、管理していただく。④広報・企画委員会を通じて、院外広報誌などで知らせていきたい。⑤退院カンファレンスの件数は平成 27 年度 210 件、平成 28 年度 279 件。退院後の行先は平成 28 年度 1,492 人の患者さんの内、一般病院への転院が 645 件、回復期病院への転院が 248 件、老健施設が 33 件、地域包括ケア病棟が 7 件、在宅が 310 件、亡くなられた</p>		

方が 137 件、その他 112 件であった。  
(委員)説明いただいた内容の資料について、口頭だけでは分かりづらいのでデータ  
が有るのなら見せていただきたい。  
(事務局) 次回添付させていただく。

## 2) 定例報告事項

(1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・  
検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研  
修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況に  
ついて報告した。

①紹介率……28 年 4 月～29 年 3 月:66.6%

28 年 4 月～5 月:67.5%

逆紹介率…27 年 4 月～28 年 3 月:124.0%

28 年 4 月～5 月:128.7%

②地域連携予約診察件数…28 年 4 月～29 年 3 月計:11,722 件

29 年 4 月～5 月計:1,945 件

紹介検査件数…28 年 4 月～29 年 3 月計:1,316 件

29 年 4 月～5 月計:183 件

③開放型病床登録医数…29 年 5 月末:130 人(医科 104 人、歯科 26 人)、

利用率…28 年 4 月～29 年 3 月:17.3% 29 年 4 月～5 月:20.5%

④救急受診患者数…28 年 4 月～29 年 3 月計:41,243 人(月平均 3,437 人)

29 年 4 月～5 月計:6,654 人(月平均 3,327 人)

救急車利用件数…28 年 4 月～29 年 3 月計:10,326 件(月平均 861 件)

29 年 4 月～5 月計:1,675 件(月平均 838 件)

救急入院患者数…28 年 4 月～29 年 3 月計:2,855 件(月平均 238 件)

29 年 4 月～5 月計:486 件(月平均 243 件)

⑤地域医療従事者に対する研修…28 年 4 月～29 年 3 月開催数:54 回、参加

人数計:6,388 人(院外 635 人、院内 5,753 人)

29 年 4 月～5 月開催数:3 回、参加人数計:242 人(院外 32 人、院内 210 人)

＊病診連携カンファレンス、糖尿病コメディカル研修会、がん診療委員会、  
在宅医療研修、学術・ホームページ委員会 等

市民対象の講演会等…28 年 4 月～29 年 3 月開催数:9 回、参加人数計:

295 人(院外 258 人、院内 37 人)

29 年 4 月～5 月開催数:2 回、参加人数計:67 人(院外 61 人、院内 6 人)

＊市民公開講座、糖尿病公開講演会、成人気管支喘息教室

⑥地域連携クリニカルパス登録状況…28 年 4 月～29 年 3 月登録総数 1,191 件

29 年 4 月～5 月登録総数 194 件

29 年 5 月末時点でのパス開始からの登録総数:6,555 件

⑦OMNet 利用状況…29 年 5 月末時点 利用者数:113 人

患者同意者総数:13,394 人

**(2)委員から、上記の報告について次のとおり意見・質問があった。**

(委員)開放型病床の利用機関が増加しているが、何か努力された結果なのか。

(事務局)各施設を訪問し、「気軽にご紹介いただきたい」と話したところ、ご利用いただける先生が増えた。定期的に地域の先生方にお知らせするのが良いかと思う。

(委員)共同診療の希望無し、というのが少し目立つが。

(事務局)共同診療する、しないは、先生方の自由としている。

(委員)治療方針について確認するということで意見を聴いたりなど、実際にお話しする機会というのは非常に有効だとは思いますが、現実的には市民病院の先生にお願いしている。自分が利用した場合は患者さんの顔は見に行って、必要があれば先生に電話するなどの利用の仕方をしている。

(委員)ポリファーマシーで 5 種類以上薬を飲んでいる人は予後が悪いと聞いて、できるだけ薬を簡素化したいが、院内各科にかかって薬を貰っている患者さんの管理はされているか。

(事務局)同効薬というのは難しい。同名の薬が出ていれば電子カルテに引っかかるが、同効薬だと引っ掛けようがない。

(委員)私のところに患者さんが薬をたくさん持ってきて「訳が分からないので…」ということがある。色々な症状が有る人なので、そうなることも有ると思うが、我々の課題でもあるので、またよろしくお願ひしたい。

(事務局)色々な科に同じ日にかかって色々な症状で各医師から薬を貰っている場合は、同じ薬だったら分かるが、似たような薬はやはり出る可能性は有る。そこをどうするのが良いのか難しい。1 つの薬局にまとめて院外の保険薬局でいくと、1 人の患者ごとに 1 つのファイルで管理してみえると思うので、院外であれば管理は可能と思う。

(委員)病院からの直接在宅あるいは施設に行かれる方について、よろず相談・地域連携課を通さずに出て行かれる方も有ると思うので、そういうデータもお願ひしたい。

(事務局)昨年度までは病棟でデータを取っていなかったもので、これからはそういうデータが地域連携に必要になってくるので今年度から取るよう依頼した。

**3)紹介率向上への取り組みについて**

**(1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。**

- ① 28 年度の患者さんからの電話予約の年間申込件数は 664 件で、27 年度の年間合計 608 件に比べて 9.2%増加した。地域別では大垣市が 8 割を占め、診療科別では歯科口腔外科が 3 分の 1 を占め、次に耳鼻咽喉科、皮膚科の順番であった。29 年度 4 月～5 月は前年度に比べ 23%増加した。診療科別では歯科口腔外科が半数近くを占め、次に耳鼻咽喉科、皮膚科の順番であった。

	<p>② かかりつけ医紹介センター相談件数の 27 年度 28 年度の利用合計は 474 件。診療科別としては、循環器内科が 42.2%、眼科が 28.3%で、この 2 科で約 7 割を占めた。29 年度の相談件数は 4 月 5 月合わせて 19 件であった。</p> <p><b>(2)委員から、上記の報告について次のとおり意見・質問があった。</b></p> <p>(委員)電話予約というのは、全予約の中のどの位か。</p> <p>(事務局)全予約件数が 13,038 件で、その内 664 件なので約 5%。他院を見学した際、そこでは電話予約を始めたら半分位は電話予約になったと聞いたが、当院では少ないので地域性なのかも知れない。</p> <p><b>2. 検討事項等</b></p> <p>(委員)分散で大量の薬が出ている患者さんの場合、1 年経てば必ず残薬が有って、去年から残薬チェックというのを薬剤師の義務としてやっている。開業医で貰っている方だと減らせられるが、市民病院での院内処方だとそういう機会が無いと思う。残薬チェックで大量の薬が余るのは、診療科どうしでの重複もあるので残薬という面にもう少し眼を向けていただけると良いのではないか。院外処方になるのが一番確実にできるので、検討していただきたい。</p> <p>(委員)かかりつけ医紹介センター相談件数の目標というのは有るのか。今は患者さんを地域に返すということで、逆紹介していくが多い。かかりつけ医紹介をもっと増やすための対策や努力していることは有るか。</p> <p>(事務局)御高齢の方で通院が難しい、という方が出始めたということがきっかけで始めた。今は外来患者さんに関して安定している方はなるべく紹介するという方向で行っている。具体的な設定は無いが各科の状況に任せている。</p> <p>(事務局)報告事項として。4 月から整形外科に新しい部長を迎えた。院長、副院長と整形外科部長で西濃地域の各診療機関を訪問させていただき、関節の手術ができるので、ぜひご紹介くださるよう依頼した結果、訪問先からの紹介が増えた。大垣市から岐阜地域へ紹介されてみえる先生も多かったが、当院でも対応可能になったので、ご報告する。</p> <p>(委員)県を跨いで紹介することも有ったので、ありがたく思う。よろしく願いしたい。</p>
次回開催	平成 29 年度第 2 回は平成 29 年 11 月に開催予定とする。